

スコアシート		実施設計段階					
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		重み係数		全体	
		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質						2.9	
Q1 室内環境						3.5	
1 音環境		4.0	0.15	2.6	1.00	2.7	
1.1 室内騒音レベル		-					
1.2 遮音		5.0	0.50	2.2	0.50		
1 開口部遮音性能		専有部(玄関含む)、共用部のアルミ建具には遮音性能T-2採用する					
2 界壁遮音性能		5.0	1.00	5.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	1.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	1.0	0.20		
1.3 吸音		-					
2 温熱環境		1.6	0.35	5.0	1.00	4.7	
2.1 室温制御		2.2	0.50	5.0	1.00		
1 室温		-					
2 外皮性能		住戸部分の断熱性能は等級5を満たす					
3 ゾーン別制御性		3.0	0.63	-	-		
2.2 湿度制御		1.0	0.38	5.0	1.00		
2.3 空調方式		-	-	-	-		
2.4 湿度制御		1.0	0.20	-	-		
2.5 空調方式		1.0	0.30	-	-		
3 光・視環境		2.0	0.25	3.0	1.00	2.9	
3.1 昼光利用		1.8	0.30	2.0	0.50		
1 昼光率		-					
2 方位別開口		1.0	0.60	1.0	0.50		
3 昼光利用設備		-	-	3.0	0.30		
3.2 グレア対策		3.0	0.40	3.0	0.20		
1 昼光制御		1.0	0.30	4.0	0.50		
		カーテン+庇によるまぶしさ対策					
3.3 照度		1.0	1.00	4.0	1.00		
3.4 照明制御		3.0	0.15	-	-		
		3.0	0.25	-	-		
4 空気質環境		2.6	0.25	3.0	1.00	2.9	
4.1 発生源対策		3.0	0.60	3.0	0.63		
1 化学汚染物質		-					
		3.0	1.00	3.0	1.00		
4.2 換気		2.0	0.40	3.0	0.38		
1 換気量		-					
2 自然換気性能		3.0	0.50	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		-	-	3.0	0.33		
4.3 運用管理		1.0	0.50	3.0	0.33		
1 CO ₂ の監視		-					
2 喫煙の制御		-					
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.0	
1 機能性		2.8	0.40	3.8	1.00	3.7	
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	5.0	0.60		
1 広さ・収納性		-					
2 高度情報通信設備対応		Gbitクラスのプロードバンドが利用可能な環境を整備					
3 パリアフリー計画		3.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30	2.0	0.40		
1 広さ感・景観		-					
2 リフレッシュスペース		-	-	3.0	0.50		
3 内装計画		3.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理		2.5	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		-					
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-		
		2.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性		2.7	0.30	-	-	2.7	
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		-					
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.80	-	-		
		3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数		2.6	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数		-					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.20	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-		
		2.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性		2.4	0.20	-	-		
1 空調・換気設備		-					
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-		
3 電気設備		1.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-		
		2.0	0.20	-	-		

3	対応性・更新性		2.4	0.30	2.6	1.00	2.5
	3.1 空間のゆとり		-	-	2.2	0.50	
	1 階高のゆとり	-	-	-	3.0	0.60	
	2 空間の形状・自由さ	-	-	-	1.0	0.40	
	3.2 荷重のゆとり		-	-	3.0	0.50	
	3.3 設備の更新性		2.4	1.00	-	-	
	1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性	-	2.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性	-	1.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-	
Q3	室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	1.9
1	生物環境の保全と創出	-	2.0	0.30	-	-	2.0
2	まちなみ・景観への配慮	-	1.0	0.40	-	-	1.0
3	地域性・アメニティへの配慮		3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	-	3.0	0.50	-	-	
LR	建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.3
LR1	エネルギー		-	0.40	-	-	3.8
1	建物外皮の熱負荷抑制	全住戸断熱等性能等級5を達成	4.0	0.20	-	-	4.0
2	自然エネルギー利用	-	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化	住宅部分のみで一次エネルギー削減率-20%達成	4.2	0.50	-	-	4.2
	集合住宅以外の評価		-	-	-	-	
	集合住宅の評価		4.2	1.00	-	-	
4	効率的運用		3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価		-	-	-	-	
	4.1 モニタリング	-	-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	-	-	-	-	
	集合住宅の評価		3.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング	-	3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	3.0	0.50	-	-	
LR2	資源・マテリアル		-	0.30	-	-	2.9
1	水資源保護		2.2	0.20	-	-	2.2
	1.1 節水	-	1.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用	-	3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	1.00	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	
2	非再生性資源の使用量削減		2.8	0.60	-	-	2.8
	2.1 材料使用量の削減	-	2.0	0.11	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用	-	3.0	0.22	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	-	-	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-	3.0	0.22	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避		3.7	0.20	-	-	3.7
	3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	-	
	1 消火剤	-	-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)	吹付硬質ウレタンフォームA種1H	5.0	0.50	-	-	
	3 冷媒	-	3.0	0.50	-	-	
LR3	敷地外環境		-	0.30	-	-	3.0
1	地球温暖化への配慮	LCCO2排出率90%	3.4	0.33	-	-	3.4
2	地域環境への配慮		2.7	0.33	-	-	2.7
	2.1 大気汚染防止	-	3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善	-	3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減	-	3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制	-	1.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制	-	1.0	0.25	-	-	
3	周辺環境への配慮		3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音	-	3.0	1.00	-	-	
	2 振動	-	-	-	-	-	
	3 悪臭	-	-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制	-	3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	
	3 日照阻害の抑制	-	3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	-	3.0	0.70	-	-	
	2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	-	3.0	0.30	-	-	

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	2.0	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1.3.1 維持管理に配慮した設計	3.0	-	○	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.1 空調・換気設備	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.2 給排水・衛生設備	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.3 電気設備	1.0	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.4.5 通信・情報設備	1.0	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	4.0	-	-	-	2.0	-	-	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-
2 まちなみ・景観への配慮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0	-	-	-	1.0	-	-	1.0	-	-	-	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	8.0	-	-	1.0	1.0	2.0	-	-	-	2.0	2.0	-	-	-	-
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.1 材料使用量の削減	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	7.0	-	1.0	-	-	-	2.0	-	-	1.0	3.0	-	-	-	-
2.3.3 交通負荷抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.2.2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	2.0	-	-	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

主な指標

Q1 室内環境	
2.1.3 外皮性能	窓システムSC - 窓の日射熱取得率(η) - U値(W/m2K) 窓システム - 屋根 - 外壁 - 床 - 住戸部分 窓システムU値 - 外皮UA値 0.5 η AC 2.5 η AH -
3.1.1 昼光率	昼光率 0.0%
4.2.2 自然換気性能	自然換気有効開口面積率 0.0%
Q2 サービス性能	
1.1.1 広さ・収納性	執務スペース 0.0㎡/人 病床 0.0㎡/床 シングル 0.0㎡ ツイン 0.0㎡
1.1.2 高度情報通信設備対応	コンセント容量 0.0 VA/㎡
1.2.1 広さ感・景観	天井高 0 m
1.2.2 リフレッシュスペース	リフレッシュスペース 0.0% レストスペース 0.0%
2.2.1 躯体材料の耐用年数	想定耐用年数 0 年
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	想定必要間隔 0 年
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	想定必要間隔 0 年
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔	想定必要間隔 0 年
3.1.1 階高のゆとり	階高 0 m
3.1.2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率 0.0%
3.2 荷重のゆとり	床荷重 - N/m2
Q3 室外環境(敷地内)	
1 生物資源の保全と創出	外構緑化指数 23% 建物緑化指数 0%
3.2 敷地内温熱環境の向上	空地率 59% 水平投影面積率 13% 地表面対策面積率 20% 舗装面積率 0%
LR1 エネルギー	
1 建物外皮の熱負荷抑制	BPI/BPI _m - 断熱等性能等級 等級5 相当
2 自然エネルギー利用	自然エネルギー直接利用量 0 MJ/年㎡ 採光を満たす教室数 0.0% 採光を満たす住戸数 0.0% 通風を満たす教室数 0.0% 通風を満たす住戸数 0.0%
3 設備システムの高効率化	太陽光 0.0kW 太陽熱等 0.0kW 蓄電池 0.0kW
非住宅部分	BEI/BEI _m 再エネ有 - 無 - オフサイト再エネ有 - -
集合住宅の評価	一次エネ削減率 再エネ有 無 22% -
LR2 資源・マテリアル	
1.2.1 雨水利用システム導入の有無	雨水利用率 0.0%
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	特定調達品目 A種押出法ポリス: エコマーク商品 - 自治体指定の特定品目等 -
2.5 持続可能な森林から産出された木材	使用比率 0.0%
3.2.1 消火剤	オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)
3.2.2 発泡剤(断熱材等)	オゾン層破壊係数(ODP) 0 地球温暖化係数(GWP) 1
3.2.3 冷媒	オゾン層破壊係数(ODP) 地球温暖化係数(GWP)
LR3 敷地外環境	
2.2 温熱環境悪化の改善	見付面積比 0% 隣棟間隔指標R _w - 地表面対策面積率 40.2% 屋根面対策面積率 0.0% 外壁面対策面積率 0.0% 見付面積S _b ㎡ 卓越風向と直交する最大敷地幅W _s 0 m 基準高さH _b 0 m 緑地 10㎡ 水面 ㎡ 保水性対策面 ㎡ 高反射対策面 ㎡ 再帰性反射対策面 ㎡